帰国生徒教育通信　第9号
埼玉大学教育学部附属中学校

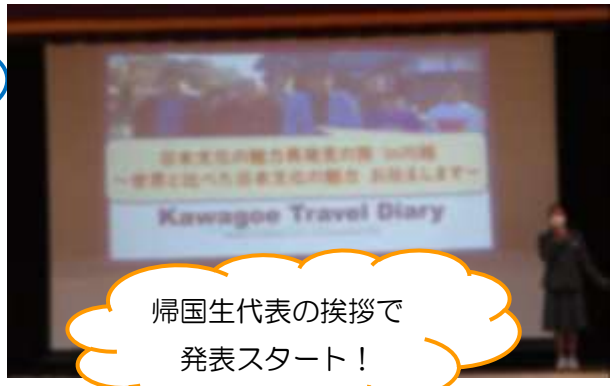
つながり -Relationships-

令和4年1月26日（水）発行

スカッシュタイムで　校外学習の発表をしました！

「日本文化の魅力再発見の旅　in 川越　～世界と比べた日本文化の魅力　お伝えします～」

全校生徒の前で、
ドキドキです。

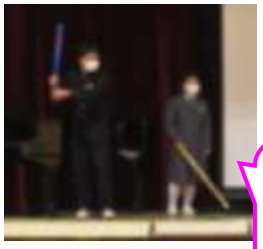


帰国生代表の挨拶で
発表スタート！

話すことを覚えて
伝わりやすく！

←竹刀を持って…

野球のバットを
↓持って…



実物を使って
わかりやすく
伝えよう！

滞在国　香港と
比較しました！

川越の魅力を紹介
しました！

校外学習とスカッシュタイムを振り返って

自分たちの発表を見返しています→

スカッシュタイムでは、臨機応変な対応や声量、スライドの説明が良かった。しかし、練習量が足りずに本番で必死になっていたところもあった。発表に向けた準備は計画的に余裕を持って行うことが大切だとわかった。見ている人を楽しませる雰囲気を作れるような準備や発表づくりをしていきたい。	校外学習では、食・建物・歴史など重点をおいて見たので、川越の魅力や日本文化がわかってより楽しく学ぶことができました。スカッシュタイムでは、最初は不安と緊張が入り混じっていましたが、話していくにつれて自分も楽しみながら発表することができました。スライドを作っているときも、「どうやったらもっと伝わるだろう？」と考えながら作ることができました。	川越の校外学習から帰って振り返ってみたときに、日本とUAEには同じところがあったり、違うところがあったりと色々な発見がありました。しかし、その発見や川越の魅力をスカッシュタイムでうまく伝えられなかったと感じる部分もありました。これからは発表前の準備や伝え方などを工夫して頑張っていきたいです。

～2年生の活躍を見た　3年帰国生より～

たくさんのクイズ♪

みんな興味津々です。

- 川越とそれぞれ住んでいた国の比較があってわかりやすかったです。クイズがたくさんあって、聞いている側も楽しく参加できました。
- 発表の仕方に工夫がつまっていて面白かった。また、クイズによって川越の魅力を伝えると同時に本来の目的である海外との比較も簡潔にまとまっていて勉強になった。
- 演劇のように話が進んでいてすごいと思いました。
- 質問をたくさんすることで、興味を引くのが良かったです。自分の国と日本の相違点をしっかり伝えられていてとても面白かったです。
- 面白かった。クイズが多めなのと、人数の少なさをうまく活かした構成になっていて工夫を感じた。
- 旅形式の発表にすることでわかりやすかった。また、３人だけでやるのは大変だったと思うけれど、大きなミスもなくやり切れていたので、相当な時間をかけてくれたのだと感じた。自分の居た国との比較もスムーズで聞いていて不自然でなかった。来年、後輩が来てくれたときに経験を伝えられるように今日の発表をよく振り返ってください。
- 自分たち３年生も以前川越を調べましたが、それ以上にとてもすごいクオリティで、面白かったです。また新たに川越の魅力を知ることができて良かったです。私は特に、歩きながら川越を見て回るというセットが面白く、聞き手の興味を引いたりできていて良かったと思いました。クイズもみんなを巻き込んでいて、楽しい時を過ごせてよかったです。ありがとうございました！

保護者の方より

アラブ首長国連邦　「UAE ってどんな国？」

現在、１年遅れで万国博覧会を開催中のドバイ。昨年 10 月には世界最大の観覧車 Ain Dubai もオープン。なんと直径 250m らしいです。そのドバイ、実は UAE という国を構成する７つの首長国の１つで、私たちはお隣のアブダビで生活していました。UAE の首都は実はアブダビなんですよ。石油がたくさん採れるのもアブダビです。煌びやかなドバイの陰に隠れがちですが、アブダビは砂漠の国にもかかわらず緑が多く落ち着いたきれいな街です。石油王のイメージはどうしても拭えませんが、脱石油に向けた取組も進めており、ドバイに続けと観光業にも力を入れています。F1 サーキットやルーブル美術館の分館もあります。いつか自由に旅行ができるようになったら、ぜひ訪ねてみてください。イスラムの文化、世界の勢い、なかなか表に出てこない雰囲気、たくさんの学びがあると思います。それにしても、万博に行きたかったなあ。